

農林課長の仕事宣言！ 進行管理表 ①

農林課長

井田 勝

重点事業の概要 [事業名：生産者と消費者の交流]

[目標値：5年後の給食における地元産品使用率 54.5%]

- 生産者と消費者の交流事業：[事業内容]・小学校給食の食材提供事業の検討を行う。
- ・生産者と消費者の交流イベント事業を進める。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	第15回米米コンテストの募集を「レッツチャレンジ！マイおにぎらず！～今年の夏は料理にちょうせん～」をテーマに行った。今年度においても小学生から中学生まで908点の応募があり、審査基準に身近な食材の活用を促し地産地消への推進を図り、二次審査コンテストへの12点を選考した。
	自己評価	米米コンテストについては、夏休みの課題等全校で取り組む学校がある。今年度のテーマは小学低学年から取り組めるものとなっており、小学1、2年生で35名の応募があり、昨年度の16名から大幅に増加した。レシピについても地元産の野菜を使ったものが多く見られ、地産地消につながる取組となっている。
	下半期への対応	生産者と消費者の直接的な交流イベントを通じて更なる地産地消の拡大に努めたい。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

今後とも関係機関と連携を取りながら取り組むこと。

下半期

農林課長の仕事宣言！ 進行管理表 ②

農林課長 井田 勝

重点事業の概要 [事業名：高収益農産物の導入]

[目標値：5年後の認定農業者数 68 経営体、家族経営協定割合 35%]

○高収益農産物の導入事業：[事業内容] 地域農産物の調査、導入農産物の検討、新規就農者への事業の拡大補助事業を活用した作業機械の導入

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	新規農産物として取り組んでいるミニキャロットの事業拡大について、J A 及び東部農林事務所と協議を行なった。作業用機械について、平成 28 年度早期に導入予定とし補助金に関する事項等の確認を行った。
	自己評価	ミニキャロット(プチキャロット)のブランド化の推進については、生産者、J A、県機関、市町で連携し、昨年度より継続して活動を行っている。
	下半期への対応	ミニキャロットについては、作付規模拡大について生産者、J A 等と協議を行なう。 マコモタケについては、昨年度に引き続き佐賀バルーンフェスタへの出店を行いPR活動に努める。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

関係機関と連携を取りながら取り組むこと。

下半期